

令和3年度 各教科 領域等で目指す具体的な資質や取組・アクションプラン

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	◆事実等を解釈し進んで自分の考えを形成する力	○語彙を増やし、意見と根拠、具体と抽象などの関係を理解する活動とともにスピーチや話し合い活動を通じ自分の考えを深める学習を行う。	○前期に引き続き、語彙を増やし、書くこと・話すことの活動で自分の考えを表現できる力を培う。また、話し合い活動を通じ、他者の考えを理解し、自分の考えを深める学習を行う。
社会	◆主体的に課題と向き合い社会参画する力	○様々な課題に対して、公正に判断し、よりよい解決に向けて、他者と協働し、解決していく力を培う。	○主体的に学習に臨み、互いの考えを共有し、自らの意見を再構築していく力を身につけさせたい。社会との関わりの中で課題を追究し、解決する活動の充実をはかる。
数学	◆数学的な表現を用いて説明し、伝え合う力	○数学的活動の過程をまとめたノートやレポートを課題として、自分の考えを数式や言葉で説明する力を高める。	○数学的な知識・技能の力があるので、グループワーク等で数学的な考えを活用し、話し合い、教え合い、数学的な思考力を高める。
理科	◆観察、実験などを行い、科学的に探究する力	○自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける活動を設定する。	○自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する発展的な技能を身につける活動を設定する。
音楽	◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○生徒同士が曲想や響き、音楽表現などについて意見交換する場を設定し、曲への理解を深め、感性を高めることのできる学習を展開する。	○感染症予防に留意し、歌唱やリコーダーなどの表現活動に取り組む中で、音楽の良さを味わい、感性を高めることのできる学習を展開する。
美術	◆自分らしさを発揮し創意工夫しながら課題に対応する力	○自分の意味や価値を作りだし、創作活動の喜びを味わいながらイメージを形にする力と共に、やり遂げる力を重視した学習を展開する。	○作品制作をやり遂げるまでに、見通しをもって計画的に進めていく力を高めるために制作過程での段階的な目標を意識させるよう授業を展開する。
保体	◆課題の解決に向け、主体的に取り組み、他者と互いに高め合う力	○自らの課題の解決に向けて、主体的に試行錯誤していく。他者との活動を通して、互いに高め合い、自分自身の力を伸ばしていく。	○引き続き、自らの課題の解決に向けて、主体的に粘り強く取り組める状況を作るように授業を展開していく。他者との活動を通して、互いに高め合い、自分自身の力を伸ばしていく。
技・家	◆生活を工夫し、創造する力	○生活の自立と技術について基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身につける活動を設定する。	○生活の自立と技術について、実際に製作や実習を通して身につけることができるようにする。これからの生活を展望した課題を解決する力を身につけさせる。
外国語	◆身近な話題について、お互いの考えや気持ちを伝える力	○様々な文章や資料を聞く・読む活動を通して言語材料を理解する力を伸ばし、考えや気持ちを伝える活動につなげる。	○基本的な知識や表現が身につけているので、それらを活用して、より考えを深め、自分の意見を伝えあう活動を増やしていく
道徳	◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○多様な指導方法を取り入れ、語り合う時間を確保し、多面的・多角的に考え議論する授業を実施する。	○語り合う時間を通して、道徳的価値の理解を自分自身のかかわりの中で深めていけるような授業を展開する
特活	◆学校生活へ参画する姿勢	○各行事で学校や学年、全校の仲間のことを考えながら一体感をもって取り組む。役割を考え、主体的に参加する機会を充実させる。	○コロナ禍で制限がある中でも一人ひとりが協力し合い、主体的に参加する機会を増やす。
総合	◆夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢	○実社会・実生活との関わりを重視し探求の過程(「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」)を大切に学習を展開する。	○探究活動を通して、表現力を磨き、自他ともに評価し合うことで自己肯定感を養う学習を展開する。
個別級	◆課題に対応する力 ◆様々な情報を活用・選択する力	○個別の指導計画に基づき、個々の実態に応じて授業形態や学習集団の構成を工夫し、指導の充実を図るようにする。	○個々の実態に応じて、授業形態の変更や活動内容の掲示方法、活動量の調整を行い、問題を解決する力を養う。